



奈良県経済観光報告

奈良県経済の基調判断

奈良県の景気については、

- ・ 設備投資は増加し、生産は上昇。
- ・ 雇用は横ばいで推移。
- ・ 個人消費は減少。企業倒産は増加し、貸出金は減少。

観光については、宿泊者数が減少。

平成 19 年 9 月

奈 良 県

景気動向

景気動向指数は、先行指数で50%を下回り、一致指数で50%を超過。

<平成19年6月の動向>

景気動向指数

先行指数は2ヶ月連続で50.0%を下回り、16.7%となった。

一致指数は71.4%で、4か月連続で50%を上回った。

<景気動向指数>

<データ:経済社会総合研究所「景気動向指数」、奈良県統計課「奈良県景気動向指数(NDI)」> (単位:%)

		18年10月	11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月
奈良県	先行指数	58.3	50.0	50.0	16.7	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7
	一致指数	57.1	28.6	21.4	42.9	0.0	57.1	57.1	57.1	71.4
全国	先行指数	50.0	25.0	25.0	37.5	25.0	33.3	16.7	45.8	75.0
	一致指数	68.2	54.5	63.6	27.3	27.3	9.1	72.7	63.6	81.8

<法人企業景気予測調査>

企業の景況判断BSI(原数値)

<データ:近畿財務事務局奈良財務事務所>('上昇'-'下降'単位:%ポイント)

		19年4~6月	19年7~9月	19年10~12月
		現状判断		
奈良県	大企業	12.5	見通し	見通し
	中堅企業	4.8	12.5	0.0
	中小企業	5.2	20.7	8.6
全国	大企業	0.9	12.0	11.5
	中堅企業	5.1	5.5	10.6
	中小企業	25.1	12.9	5.4

個人消費

大型小売販売額(全店ベース)は前年同月比減少。

<平成19年7月の動向>

大型小売店販売状況(百貨店+スーパー)

全店ベースでは、前年同月比2.8%減(近畿1.9%減、全国2.5%減)となり、4か月連続で前年比マイナスとなった。

<大型小売店販売額対前年比>

<データ:経済産業省「商業販売統計」> (単位:%)

	17年度	18年度	18年10~12月	19年1~3月	19年4~6月	5月	6月	7月
奈良県	3.0	0.1	1.3	1.6	2.0	2.2	3.4	2.8
近畿	0.7	0.2	0.8	1.4	0.6	0.2	1.6	1.9
全国	0.6	0.4	1.4	0.5	0.4	0.3	1.8	2.5

乗用車新規登録台数は、前年同月比減で推移。

<平成19年7月の動向>

乗用車新規登録台数(普通車、小型車、軽四車)

前年同月比8.3%減(近畿8.5%減、全国9.6%減)となり、17か月連続で前年比減少となっている。

<乗用車新規登録台数対前年比>

<データ:経済産業省「近畿経済の動向」前年同月比> (単位:%)

	17年度	18年度	18年10~12月	19年1~3月	19年4~6月	5月	6月	7月
奈良県	0.0	7.0	6.6	7.1	9.4	7.4	13.0	8.3
近畿	0.1	6.5	4.3	7.8	8.9	6.7	10.1	8.5
全国	0.1	4.2	1.0	5.8	6.8	4.8	8.0	9.6

設備投資

建築物着工床面積は、3か月連続の増加。

< 7月の動向 >

建築物着工床面積(非居住)

前年同月比で22.7%増の38,913㎡と3か月連続で増加した。

< 建築着工床面積対前年比 >

<データ:国土交通省「建築着工統計調査」 (単位:%)>

	18年度	18年10~12月	19年1~3月	19年4~6月	5月	6月	7月
奈良県	18.8	41.1	50.1	38.9	69.7	224.4	22.7
近畿	3.1	2.8	5.9	21.4	8.6	89.6	12.5
全国	0.1	0.3	7.6	18.3	14.2	47.4	21.2

< 法人企業景気予測調査(対前年比) >

<データ:近畿財務事務局奈良財務事務所> (単位:%)

設備投資 (除く土地・ソフトウェア投資)	平成19年度	
	前回(3月時点)調査	今回(6月時点)調査
奈良県	44.1	65.6
全国	5.3	3.3

住宅投資

新設住宅着工戸数は、前年同月比で減少。

< 7月の動向 >

新設住宅着工戸数

前年同月比でマイナス52.7%と減少に転じた。

< 新設住宅着工戸数対前年比 >

<データ:国土交通省「建築着工統計調査」 (単位:%)>

	17年度	18年度	18年10~12月	19年1~3月	19年4~6月	5月	6月	7月
奈良県	6.7	13.9	40.4	0.7	10.7	42.9	16.1	52.7
近畿	8.2	4.3	12.6	1.6	1.7	8.1	10.5	28.5
全国	4.7	2.9	5.2	1.8	2.6	10.7	6.0	23.4

公共投資

公共工事請負金額は、前年同月比で増加。

< 7月の動向 >

公共工事請負金額

前年同月比では、プラス16.0%と増加した。

< 公共工事請負金額対前年比 >

<データ:近畿経済産業局「近畿経済の動向」 (単位:%)>

	17年度	18年度	18年10~12月	19年1~3月	19年4~6月	5月	6月	7月
奈良県	3.7	35.3	23.6	23.3	8.7	64.0	2.6	16.0
近畿	1.8	13.2	13.7	1.5	0.2	18.0	13.3	0.8
全国	5.6	5.2	3.1	7.7	0.7	0.4	2.9	4.0

生産・在庫

生産は2か月ぶりの上昇。在庫は3か月連続の上昇。

< 6月の動向 >

鉱工業指数(速報値、季節調整済・総合)

生産指数は、前月比で6.9%増と2ヶ月ぶりの上昇となった。

在庫指数は、前月比で5.7%増と3ヶ月連続の上昇となった。

< 鉱工業指数 >

[生産指数]

<データ:奈良県統計課「奈良県鉱工業指数」> (単位:%)

	17年	18年	18年10~12	19年1~3月	19年4~6月	4月	5月	6月
奈良県	1.4	2.0	2.0	1.9	-	2.2	4.3	6.9
近畿	1.1	4.2	0.7	1.0	-	0.1	0.3	1.3
全国	1.1	4.8	2.2	1.3	-	0.2	0.3	1.2

[在庫指数]

<データ:奈良県統計課「奈良県鉱工業指数」> (単位:%)

	17年	18年	18年10~12	19年1~3月	19年4~6月	4月	5月	6月
奈良県	16.6	12.1	4.8	4.7	-	3.2	0.6	5.7
近畿	2.8	4.5	0.3	3.9	-	1.9	1.4	0.2
全国	3.1	2.4	3.1	0.3	-	0.4	0.4	0.3

企業収益

19年度の見通しは、売上高で増収、経常利益で減益。

< 19年4月~6月の動向 >

売上高

4月~6月期法人企業景気予測調査によると、19年度上期の売上高は、全産業で対前年比2.1%の増収見込みとなっており、通期では0.8%の増収見通しとなっている。

経常利益

19年度上期の経常利益は、全産業で対前年比10.7%の増益見込みとなっており、通期では3.2%減益見通しとなっている。

< 法人企業景気予測調査(対前年度比) >

<データ:近畿財務事務所奈良財務事務所> (単位:%)

	平成19年度		
	通年	上期	下期
売上高	0.8	2.1	0.5
経常利益	3.2	10.7	15.6

企業倒産

倒産件数が前年同月比で4ヶ月連続の増加。

< 8月の動向 >

企業倒産状況

負債総額1,000万円以上の企業倒産件数は18件となり、前年同月比で4件の増(28.6%増)となった。

負債総額は、29億6,100万円と前月比で30億500万円の減(50.4%減)、前年同月比で20億3,187万円の増(218.7%増)となった。

< 負債総額1千万円以上の企業倒産件数対前年比 >

<データ:東京商工リサーチ> (単位:%)

	17年度	18年度	18年10~12月	19年1~3月	19年4~6月	6月	7月	8月
奈良県	12.1	18.9	27.9	27.3	12.5	60.0	90.0	28.6
近畿	12.8	0.4	16.6	1.5	8.8	8.8	20.1	9.3
全国	0.1	1.3	2.0	2.7	10.2	6.7	15.6	2.9

注)近畿は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県の2府5県

雇 用

有効求人倍率は0.80倍と前月と同水準。

< 7月の動向 >

有効求人倍率(季節調整値)

0.80倍と横ばいで推移している。

< 有効求人倍率(季節調整値)の推移 >

< データ: 厚生労働省「職業安定業務統計」 >

(単位: 倍)

	10月	11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
奈良県	0.83	0.85	0.84	0.85	0.84	0.86	0.84	0.81	0.80	0.80
近畿	1.12	1.12	1.13	1.12	1.10	1.09	1.10	1.10	1.11	1.12
全国	1.07	1.07	1.07	1.06	1.05	1.03	1.05	1.06	1.07	1.07

金 融

預金は、前年同月比で増加。貸出金は、前年同月比で減少。

< 平成19年7月の動向 >

預金残高及び貸出金残高

預金残高は、前年同月比1.6%増(近畿1.2%増、全国2.7%増)となった。

貸出金残高は、前年同月比2.5%減(近畿1.0%減、全国0.0%増)となった。

< 預金残高対前年比 >

< データ: 奈良財務事務所統計等 > (単位: %)

	平成18年11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
奈良県	0	0.9	0.9	1.0	1.1	1.4	1.8	1.8	1.6
近畿	0.9	0.8	1.1	1.4	1.0	0.7	1.4	1.8	1.2
全国	0.2	0.5	0.6	0.9	1.1	1.4	1.9	2.0	2.7

< 貸付金残高対前年比 >

< データ: 近畿経済産業局、奈良財務事務所統計 > (単位: %)

	平成18年11月	12月	19年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
奈良県	0.7	0.9	1.0	0.7	0.4	1.5	2.0	2.4	2.5
近畿	0.6	0.6	0.2	0	0.8	0.5	0.7	0.8	1.0
全国	1.7	1.7	1.6	1.2	0.7	0.6	0.3	0.6	0.0

注) 預金及び貸出金の残高は、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫の月末値

近畿は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県

観 光

宿泊者数は、前月比、前年同月比とも減少。

< 7月の動向 >

奈良市ホテル宿泊者数、客室稼働率

奈良市内8ホテルの宿泊者数は25,776人(客室稼働率52.0%)で、前年同月比で18.8%の減少となった。

< 奈良市ホテル宿泊者数、客室稼働率 >

< データ: 奈良県観光課統計 > (単位: 人、%)

	19年4月	5月	6月	7月	計	7月
						対前年同月比
宿泊者数	42,830	48,905	31,434	25,776	148,945	18.8
客室稼働率	79.7	82.9	64.0	52.0	69.0	11.9

公表用に、取り急ぎとりまとめたものであり、計数等に誤り等のある可能性があるため、データの使用に当たっては、原資料を参照されたい。